

薬剤の使用に際しては、必ず商品の説明書をよく読んで、記載内容に従ってお使いください。

最新の適用病害虫名・対象作物名については、[メーカーのホームページ](#)をご参照、または、お問い合わせください。  
(こちらに掲載している内容は、2023年8月現在の内容です)

## 適用害虫と使用方法

※印は収穫物への残留回避のため、本剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

作物名	適用病害虫名	使用時期	総使用回数※					
			本剤	還元 澱粉 糖化 物	クロチアニジン	ピリ ダリ ル	ペルメトリン	マン デス トロ ビン
ばら	アブラムシ類、アザミウマ類、オオタバコガ、クロケシツブショッキリ、コガネムシ類成虫、ゴマダラカミキリ成虫、チュウレンジハバチ、ハスモンヨトウ、ハダニ類、うどんこ病、黒星病	発生初期	4回以内	—	4回以内	4回以内	6回以内	4回以内
きく	アブラムシ類、アザミウマ類、ハスモンヨトウ、ハダニ類、うどんこ病、白さび病							
ガーベラ	アブラムシ類、アザミウマ類、ハスモンヨトウ、ハモグリバエ類、ハダニ類、うどんこ病				6回以内			
バーベナ	ア布拉ムシ類、アザミウマ類、コナジラミ類、ハスモンヨトウ、ハダニ類、うどんこ病				4回以内			
パンジー	ア布拉ムシ類、アザミウマ類、ハスモンヨトウ、ハダニ類、クロバネキノコバエ類、うどんこ病、灰色かび病							
花月	ア布拉ムシ類、アザミウマ類、ハスモンヨトウ、ハダニ類、ミカンコナカイガラムシ、うどんこ病							
花き類・観葉植物 (ばら、きく、ガーベラ、バーベナ、パンジー、花月を除く)	ア布拉ムシ類、アザミウマ類、ハスモンヨトウ、ハダニ類、うどんこ病							
つつじ類	ア布拉ムシ類、ケムシ類、カイガラムシ類、ツツジグンバイ、うどんこ病	6回以内		6回以内		6回以内		6回以内
ひいらぎもくせい	ア布拉ムシ類、ケムシ類、カイガラムシ類、ヘリグロテントウノミハムシ、うどんこ病							
まさき	ア布拉ムシ類、ケムシ類、カイガラムシ類、アオバハゴロモ、うどんこ病							
さくら	ア布拉ムシ類、ケムシ類、カイガラムシ類、クビアカツヤカミキリ(成虫)、うどんこ病							
樹木類(つつじ類、 ひいらぎもくせい、 まさき、さくらを除く)	ア布拉ムシ類、ケムシ類、カイガラムシ類、うどんこ病							

作物名	適用病害虫名	使用時期	総使用回数※					
			本剤	還元澱粉 糖化物	クロチアニジン	ピリダリル	ペルメトリン	マンデストロピン
トマト	オオタバコガ、コナジラミ類、うどんこ病	収穫前日まで	2回以内	－	4回以内(育苗期の株元処理及び定植時の土壤混和は合計1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計3回以内)	2回以内	3回以内	3回以内
ミニトマト	オオタバコガ、コナジラミ類						4回以内(株元散布は1回以内、散布及び噴射は合計3回以内)	
きゅうり	アブラムシ類、ウリハムシ、うどんこ病						3回以内	
なす	アブラムシ類、ハダニ類、ハスモンヨトウ、オオタバコガ、テントウムシダマシ類、ハモグリバエ類、うどんこ病		3回以内				4回以内	
メロン	アブラムシ類		2回以内				2回以内	5回以内
キャベツ	アオムシ、コナガ、ハスモンヨトウ、オオタバコガ、菌核病	収穫7日前まで			3回以内(定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は2回以内)		5回以内(株元灌注は2回以内)	
はくさい	アオムシ						5回以内	
レタス	アブラムシ類、ハスモンヨトウ							
リーフレタス	ア布拉ムシ類	収穫14日前まで			5回以内(定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は2回以内、定植後の株元散布は2回以内)		2回以内	

○希釈倍数:原液 ○使用方法:散布

- 2022年8月30日付:ミニトマトを追加。
- 2021年6月9日付:花き類・観葉植物(ばら、きく、ガーベラ、バーベナ、パンジー、花月を除く)、樹木類(つつじ類、ひいらぎもくせい、まさき、さくらを除く)、つつじ類、ひいらぎもくせい、まさきの変更。きく、さくらの追加。
- 2021年2月10日付:はくさい、レタス、リーフレタスの変更。
- 2020年7月8日付:パンジー、花月の追加。トマト、なす、ガーベラ、バーベナ、花き類・観葉植物(ばら、ガーベラ、バーベナ、パンジー、花月を除く)の変更。
- 2019年8月7日付:なす、きゅうり、花き類・観葉植物(ばら、カーネーション、ガーベラ、バーベナを除く)、ばら、樹木類(つつじ類、ひいらぎもくせい、まさき、クロトン、さるすべりを除く)、つつじ類、ひいらぎもくせい、まさき、クロトンの変更。はくさい、カーネーション、ガーベラ、バーベナの追加。
- 2019年5月15日付:キャベツの変更。

## 効果・薬害等の注意

- 使用前に容器をよく振ってください(沈殿)。
- 使用に当っては使用方法などを誤らないよう注意してください。
- ミツバチ及び蚕に影響があるので、注意して使用してください。
- 花き類に使用する場合、品種によっては、花弁に薬液が飛散すると変色等の症状が出るおそれがあるので、花にかかるないように注意してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所または販売店と相談することが望ましいです。

## 安全使用上の注意

- 体調のすぐれない時は散布しないでください。
- 人に向かって噴射しないでください。
- 散布時は、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- かぶれやすい人は取扱いに十分注意してください。
- 使用後の空容器は3回以上洗浄してから処理してください。

## 薬剤の使用に関する注意事項

適正かつ安全に使用していただくため基本的な注意事項をご案内します。

### [薬剤の使用に関する注意事項](#)